

救急連続セミナー第1弾

自殺未遂者の自殺再企図は抑止できる

～ACTION-Jの成果と展望～



医療者が知っておきたい

自殺と自殺予防の話

札幌市および札幌近郊の救急医療に貢献する当院は、精神科医が常勤している唯一の2次救急病院である。

札幌市の精神科救急の質やシステムは、ここ10年間大きな変化はなく、救急隊からの入電依頼も5回以上断られることが常である。札幌医療圏における救急医療機関と精神科施設との連携も薄く、薬物過量内服患者の再企図率は高く、その統計すら公表されていない。昨年札幌医科大学神経精神医学講座の教授に就任された河西先生の音頭によって、初めて精神科医と救急医、救急医療施設に勤務する看護師、札幌市消防局が互いの交流を図る会が催され、盛況となった。

当院が今後、札幌市精神科救急医療の分野で果たすべき役割は果てしなく大きく、全国でもモデルケースとなりうるものと考えられる。

研修医、救急医、当直内科医師、看護師、事務員、ソーシャルワーカー、精神科医、臨床心理士、薬剤師、リハビリ技師、管理部がしっかりと精神科救急に関する現状と知識を身に付け、特に社会問題となっている自殺企図患者の再企図予防に向けて、多職種で取り組む契機としたい。



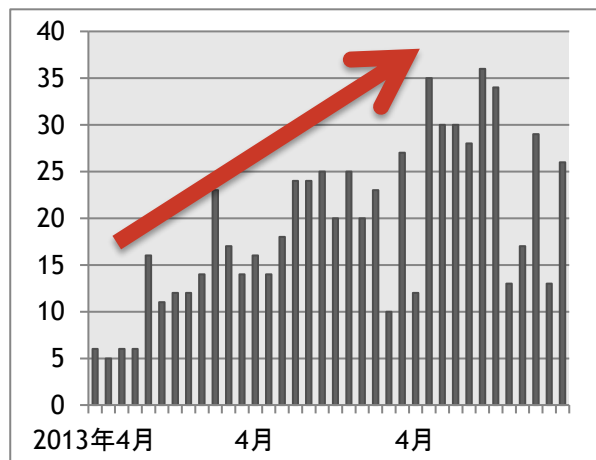
【演者】札幌医科大学医学部
神経精神医学講座 主任教授
河西千秋先生

とき 平成29年7月6日(木)

じかん 18:00～20:00

ところ 勤医協中央病院2階
みなくるA

月別当院救急搬入自殺企図傷病者数



お問い合わせは、救急科 田口(PHS 5005)か、連携室 白幡課長 (PHS 5534) まで